

令和5年度事業計画書

[令和5年2月1日より令和6年1月31日まで]

1. 学術講演会、研究会等の開催（定款第5条1項の1）

- ・一般社団法人日本内科学会令和5年定時総会を下記の通り行う。
開催日 令和5年4月14日（金）
会場 東京都・東京国際フォーラム 参加予定者数 40,200人（委任状含）
- ・第120回日本内科学会講演会を下記の通り行う。
会長 小室 一成（東京大学）
会期 令和5年4月14日（金）～令和5年4月16日（日）
会場 東京都・東京国際フォーラム 参加予定者数 40,000人（Web配信含）
会長講演、特別講演、招請講演5題、シンポジウム3題、パネルディスカッション、
教育講演19題、一般演題240題、第120回講演会記念講演、CPC、医学生・研修医・専攻医を対象とした
企画、働き方改革・ダイバーシティ公開シンポジウム等
- ・第51回内科学の展望を下記の通り行う。
会長 益崎 裕章（琉球大学）
開催日 令和5年12月3日（日）
会場 那覇市・那覇文化芸術劇場なは一と 参加予定者数 3,000人（Web配信含）
テーマ 未定
- ・支部の事業として行う学術集会（地方会）は、北海道、東北、関東、信越、東海、北陸、
近畿、中国、四国および九州の10支部において35回開催する。
参加予定者数 30,200人（Web配信含）

2. 学会誌、学術図書等の発行（定款第5条1項の2）

- ・和文誌「日本内科学会雑誌」を下記の通り発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数
令和5年2月10日	112	2	115,200部
2月20日	112	臨時増刊	115,400部
3月10日	112	3	115,700部
4月10日	112	4	117,400部
5月10日	112	5	118,700部
6月10日	112	6	119,300部
7月10日	112	7	119,500部
8月10日	112	8	119,600部
9月10日	112	9	119,700部
10月10日	112	10	120,000部
11月10日	112	11	120,200部
12月10日	112	12	120,400部
令和6年1月10日	113	1	120,400部

- ・英文誌「Internal Medicine」は電子ジャーナルのみの発行（年24回）とし、一般公開する。

3. 研究及び調査の実施（定款第5条1項の3）

- ・内科専門医および総合内科専門医の臨床研修に必要な一定規模と教育環境を有する施設の調査を実施する。

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第5条1項の4）

- ・第36回内科学会奨励賞を表彰する。

桑田 威：「潰瘍性大腸炎における新規自己抗体」

村田 伸弘：「日本のCOVID19後遺症患者における心臓・肺血管障害に関する研究」

相良 匡昭：「2型糖尿病における血清可溶性DPP-4値は、エラストグラフィによる肝線維化の重症度および進行性NASHの新たな指標FASTスコアと関連する」

森 大輔：「保存期腎不全患者における尿カリウム排泄量が予後に与える影響」

西岡 憲亮：「新型コロナウイルス肺炎は肺炎球菌肺炎とどのように違うのか」

本田 晃：「本邦における特発性好酸球増加症候群に関する全国調査」

奥住 文美：「IP/RT-QuICによるシヌクレノパチー疾患特異的血液アルファシヌクレインシードの検出」

大久保直紀：「関節リウマチ分子標的治療薬による骨代謝へのクラスエフェクト～FIRST registryより～」

藤本 康介：「腸内共生病原菌を標的としたGVHDの制御」

近藤 知大：「包括的がんゲノムプロファイリングにおける二次的所見疑いバリエーションの絞り込み基準」

5. 認定医及び認定施設の認定（定款第5条1項の5）

- ・資格認定試験を下記の通り行う。

第3回 内科専門医 資格認定試験

実施日 令和5年6月4日（日）

会場 横浜、大阪の2地域に試験会場を設ける予定

第51回 総合内科専門医 資格認定試験

実施日 令和5年9月3日（日）

会場 横浜、大阪の2地域に試験会場を設ける予定

- ・内科専門医および総合内科専門医の臨床研修を行う教育施設を調査に基づき認定審査する。

6. 生涯学習活動の推進（定款第5条1項の6）

- ・生涯教育講演会を下記の通り開催する。

2023年度生涯教育講演会Aセッション

会長 筒井 裕之（九州大学）

開催日 令和5年7月9日（日）

会場 福岡市・福岡国際会議場 参加予定者数 3,800人（Web配信含）

2023年度生涯教育講演会Bセッション

会長 須田 隆文（浜松医科大学）

開催日 令和5年6月4日（日）

会場 浜松市・アクティシティ浜松 参加予定者数 3,800人（Web配信含）

2023年度生涯教育講演会Cセッション

会長 西岡 安彦（徳島大学）

開催日 令和5年7月2日（日）

会場 徳島市・あわぎんホール 参加予定者数 3,800人（Web配信含）

- ・各支部生涯教育講演会は10支部において22回開催する。 参加予定者数 14,300人（Web配信含）

- ・セルフトレーニング問題を実施する。 参加予定者数 21,000人

- ・会員の生涯教育のための生涯教育システムの運用

（講演会のオンデマンド配信，セルフトレーニング問題の受講を含む）

7. 救急救命講習会の開催（定款第5条1項の5及び6）

- ・内科医の質の向上のための救急救命講習会を7回，指導者講習会を7回開催する。

8. 関連学術団体との連絡及び協力（定款第5条1項の7）

- ・日本医学会連合，日本専門医機構，内科系学会社会保険連合，日本医療安全調査機構等の活動に積極的に参画する。

9. 国際的な研究協力の推進（定款第5条1項の8）

- ・国際内科学会及び米国内科学会の活動に積極的に参画する。

10. 社会に対する内科学の進歩の普及及び医療への啓発活動（定款第5条1項の9）

- ・禁煙推進学術ネットワークの活動に参画する。
- ・市民公開講座を下記の通り開催する。
 - テーマ これからの「超高齢社会」と「健康長寿」
 - 開催日 令和5年3月21日（火・祝日）
 - 会場 安田講堂（東京大学構内）

11. 新専門医制度の実施、運用（定款第5条1項の5及び10）

- ・新専門医制度の円滑な実施、運用に注力する。特に内科専攻医の研修履歴及び実績の登録、その評価と専攻医のさらなる育成など専攻医登録評価システム（J-OSLER）を活用し管理・運営を行う。

12. その他目的を達成するために必要な事業（定款第5条1項の10）

- ・令和5年に学会創立120周年を迎えるにあたり、「120周年記念誌」の発行を行う。
- ・情報化の検討・推進
 - Webによる情報発信、各種コンテンツの提供、学会業務のシステム化などの情報化を段階的に推進する。
- ・日内会館の管理・運営等